

講演会 「学校史とは何か —地域のコミュニティセンター としての学校の姿—」

日本の近代化は、学校が主導してきたと言っても過言ではない。学校が主導したというのは、単に教育による成果に着目するにとどまらず、学校が地域で果たしてきた役割や、進路ルートの形成による若者のライフスタイルの激変など、広範な意味を持つ。本講演では、このような「教育に限定されることのない学校の歴史」を「学校史」と命名し、この「学校史」の具体的な展開を、明治期以降の京都をフィールドとしてお話ししたい。



講師 和崎光太郎氏(京都市学校歴史博物館学芸員)

島根県益田市出身。京都大学博士(人間・環境学)。

日本学術振興会特別研究員を経て、2011年4月から現職。近畿大学・京都教育大学・滋賀大学の非常勤講師を兼務。博物館では主に、日本最初の学区制小学校であり地域運営学校でもあった番組小学校の歴史を中心とした展示を担当。著書は、教育に限定することなく学校のありのままの姿を語る「学校史」を提唱した『学びやタイムスリッパー—近代京都の学校史・美術史—』(共著、京都新聞出版センター、2016年)や、変わりゆく〈青年〉像の分析から近代学校の「威力」を論じた『明治の〈青年〉—立志・修養・煩悶—』(単著、ミネルヴァ書房、2017年)など。他に論文多数。

日時

2017年10月21日(土)

講演会(入場無料) 14:00~15:30

質疑応答 15:30~16:30

場所

南山アーカイブズ(ライネルス館)

展示室自由見学 10:00~14:00

※通常土曜は休館日ですが当日は展示室も開室いたします



アクセス: 地下鉄鶴舞線「いりなか」駅2番出口より徒歩5分
※駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

■お問い合わせ

学校法人南山学園 南山アーカイブズ

Tel. 052-861-0613

〒466-0838 名古屋市昭和区五軒家町6

開館時間: 10:00~16:00 休館日: 土日祝

E-mail: nanzan-archives@nanzan.ac.jp

URL: <http://www.nanzan.ac.jp/archives/>



南山アーカイブズ